

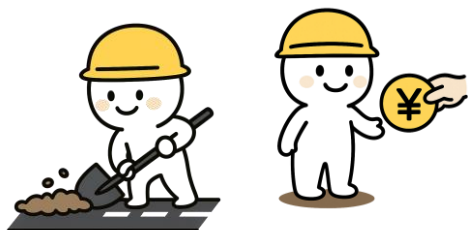


物語で分かる 「お金」って何？「税金」って何？

こんにちは。ファイナンシャル プランナーの中澤です。
最近、国会では年金や防衛費、震災復興や減税の話題になるたびに、「財源が...」「増税を...」という言葉を目にします。
けれども、そもそも私たちは「お金」や「税金」について、どこまで理解できているのでしょうか？
今回は、そんなテーマを物語を通して考えてみたいと思います。

お金の誕生

あなたはある国の住人になり、そこにはAさん（牧場）、Bさん（農業）、Cさん（漁師）が住んでいました。
それぞれの国民は、肉・野菜・魚を手に入れて生活できますが、あなたは何も持っていません。
この国の国王は、あなたに「道路を作る仕事」をお願いしました。
でも道路は食べられないので、お礼として何かを渡さないと、あなたは生きていきません。
そこで国王は、Aさん・Bさん・Cさんの誰とでも物を交換できる「引換券」をあなたに渡しました。
この引換券の正体こそが『お金』なのです。



お金の便利さ

この引換券（お金）は、Aさん・Bさん・Cさんにとっても非常にありがたいものでした。
肉や魚、野菜はすぐに腐ってしましますが、お金ならいつでも使えて、保存もできます。
それぞれが自分の生産物と引き換えに、あなたから喜んでお金を受け取るようになりました。
やがて、あなたは道路を完成させ、次は学校や病院、図書館などインフラの建設にも携わります。
これらは直接食べられるものではありませんので、国王は引き続きあなたにお金を支払い続けます。

国に溢れかえったお金

ところが、しばらくして問題が起こります。世の中にお金が溢れすぎてしまったのです。
AさんもBさんもCさんも「もうお金はいらない」と言い出しました。
世の中にお金の量が増えすぎて、お金の価値が下がってしまったのです（＝インフレ）。
するとあなたも「そんな価値の下がったお金のために働かたくない」と感じるようになります。
そこで国王は、世の中に出回るお金の量を減らし、お金の価値を保つために「**お金を国に戻す仕組み**」を始めます。
この正体こそが『税金』なのです。

税金の本当の役割

税金は、政府の財源ではなく「**お金の流通量を調整する手段**」です。
インフレを防ぎ、お金の価値を守るため、国は一定量のお金を税として回収しているのです。
なので、よく言われる「減税をしたら財源が...」という議論は、本質を見誤っています。
税金は政府の“お財布”ではなく、経済全体のバランスを整える“ブレーキ”のようなものなのです。



国の黒字は国民の赤字

現在、日本では「さらなる財政健全化を目指す」と言われています。
これは国民にとって非常に良い事を言っているように聞こえますが、実は言い換えると、「**政府を黒字にする**」と言っており、「政府が黒字になる」ということは、「国民からさらにお金を回収する＝**国民が赤字になる**」ということです。
「政府の黒字＝国民の赤字」「政府の赤字＝国民の黒字」なのです。
税金の仕組みは財源として捉えられがちですが、「**お金の価値を守る**」ための役割を担っています。
今回の物語が、そうした背景を少しでも考えるきっかけになれば嬉しく思います。

- ・投資に関する相談
- ・相続に関する相談
- ・保険の見直し
- ・住宅ローンの借換
- ・結婚、出産等による環境変化の相談 etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様をご紹介ください。

著 者／中澤 賢一
保有資格／クレジットカードアドバイザー®
投資診断士 相続診断士 生成AIパスポート
ファイナンシャルプランナー
2025年度MDRT成績資格会員
MAIL / fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
TEL / 080-7359-4129

NEW!